



2022年11月9日

各 位

会社名 株式会社 理 經  
代表者名 代表取締役社長 猪 坂 哲  
(コード番号 8226 東証スタンダード市場)  
問合せ先 取締役経理部長 長谷川 章詞  
( TEL. 03 - 3345 - 2153 )

## 2023年3月期 第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値の差異

2022年5月13日に公表いたしました2023年3月期 第2四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年9月30日)の業績予想における予想値と比較して、本日公表の実績値に下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2023年3月期 第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値の差異 (2022年4月1日～2022年9月30日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (2022年5月13日発表)	4,370	△130	△130	△160	△10円58銭
実 績 値 ( B )	4,985	33	34	△20	△1円33銭
増減額 ( B - A )	615	163	164	140	
増 減 率 ( % )	14.1	—	—	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	5,999	113	66	△25	△1円69銭

#### 2. 差異が生じた理由

連結の実績値につきましては、主に子会社、株式会社エアロパートナーズにおいて案件の早期納入などにより売上高、利益が増加したことと、当社の販管費の減少によります。

事業別では、システムソリューションにおいては、官公庁向け製品及び自動車・半導体向け工業用計測製品の出荷遅れにより、売上高、利益とも減少いたしました。

ネットワークソリューションにおいては、保守作業の案件が増加し、売上高、利益とも増加いたしました。

また電子部品及び機器においては、前述の子会社株式会社エアロパートナーズにおいて、案件の早期納入などにより売上高、利益ともに増加いたしました。

これらの要因により、連結売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、2022年5月13日に発表いたしました業績予想を上回る結果となりました。

なお、2023年3月期通期の連結業績予想については、現時点において、最近の国内外の経済状況の変動を鑑み、2022年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

以 上